

CREATE LASTING IMPACT
持続可能なインパクトを生み出そう

2026～27 年度年度
国際ローター会長 Olayinka Hakeem Babalola



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第 7 回例会 2026.9.7 (#2492) 舞の間
例会ホスト・紹介係 加賀会員
受付係 保科会員 新保会員
司会者 乳井会員 ソングリーダー 須藤会員

卓話 「ガバナー卓話」

第 2580 地区 ガバナー 谷一 文子 氏

前回の報告

第 6 回例会 2026.8.31 (#2491) 舞の間
例会ホスト・紹介係 園田会員
受付係 荒川会員 濱田会員
司会者 守屋会員 ソングリーダー 木寅会員

卓話 「委員長挨拶」

齊藤会員増強/会員選考・職業分類委員長
木寅ローター財団委員長・内田米山奨学委員長
濱田プログラム委員長・加賀衛星クラブ担当/会計

ロータリーを楽しみ、生涯の仲間を増やそう、その為に一步踏み出そう

会長報告

- 1) 本日は委員長よりお話をさせて頂きます。
- 2) 内田会員に米山奨学会より17回めの功労者章が届いております。 ご協力に感謝です。
- 3) 皆様からご協力いただいた義援金にニコニコから加算して、ベネズエラ地震に3万円、熊本地震に5万円をそれぞれ送金致しました。
- 4) 来週はガバナー 公式訪問日です。みなさまのご協力をよろしく御願いたします。

幹事報告

- 1) 10月7日の地酒の会にご参加下さい。
- 2) 先程会長からもございましたが、来週はガバナー訪問日です。
各委員長は11:00～のクラブ協議会から
ご出席下さい。協議会にはクラブ活動計画書をお持ち下さい。

例会記録

会員総数 59名 出席会員数 25名
ゲスト 0名 ビジター 1名
その他 0名 海外ビジター 0名
事務局 3名

ニコニコボックス

吉田会員：来週はガバナー訪問
です。皆様の御出席を宜しくお願
致します。
齊藤会員：インフルエンザが流行っ
ているようです。皆様お気を付けくだ
さい。

次回予告

第8回例会 2026. 9. 14 (#2493)
会場：舞の間
例会ホスト・紹介係 保科会員
受付係 乳井会員 末竹会員
司会者 福田会員
ソングリーダー 須藤会員

「ポリオ根絶活動と麹町RC」

久保田 智也 会員



ひとり親家庭の現状と支援

しんぐるまざーずふぉーらむ理事長 小森雅子氏(7/27 卓話)

1. NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむの概要とビジョン

【発足と展開】NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむは、1980 年に児童扶養手当の改悪に反対するシングルマザーの当事者活動から発足した支援団体である。2002 年に NPO 法人化を果たし、現在は当事者運動の枠組みを超えた包括的な支援組織として多角的な事業を展開している。首都圏を中心に全国約 12,000 人の無料メルマガ会員を擁し、離婚前で悩む女性やシングルファーザーも包摂した幅広い支援を届けている。



【ビジョンと5つの事業の柱】「家族の形によらず、ひとりひとりが尊重され、安心して暮らせる社会をつくる。」というビジョンのもと、当団体の活動は大きく5つの柱によって構成されている。具体的には、①食料支援や新入学祝い金・親子イベント等の生活支援事業、②電話・メール・グループ相談などの相談事業、③就労・資格取得支援事業（キャリア相談・高卒認定試験支援等）、④公的機関等からの受託・連携事業（東京都ひとり親家庭支援センター「はあと」の運営等）、⑤生活調査や政策提言・広報活動（ひとり親家庭サポート団体全国協議会との連携等）である。

2. 生活支援事業の実績と当事者・子どもの現状

【生活支援の実績】物価高騰が続くなか、当団体が提供する「ほっとあんしん便」（定期食料支援）および「新入学祝い金事業」は、セーフティネットとして非常に重要な役割を果たしている。ほっとあんしん便は学校の長期休業期（7月・12月・3月）に合わせて年3回実施され、お米5kgを含む食品や生活用品を配送している。昨年度の実績では延べ4,100世帯へ支援が届けられた。また、10周年を迎えた新入学祝い金事業では、企業連携のもと470人への祝い金給付と90人へのランドセル贈呈を実現している。

事業名称	実施規模・対象世帯	支援の具体的内容・特徴
定期食料支援 (ほっとあんしん便)	年3回(7・12・3月) 延べ4,100世帯(実績)	1回あたり約1,300世帯へ米5kgや企業寄付の食品・生活用品をパッケージ配送。
新入学祝い金 & ランドセル贈呈	祝い金給付: 470人 ランドセル贈呈: 90人	10周年事業。民間企業(ふわりい基金等)と連携し、入学時の経済的負担を軽減。

【当事者・子どもの声】支援を受けた当事者からは、深刻な食料・資金不足に関する苦しい実態が寄せられている。例えば、「物価高のため朝はパンや納豆ごはんのみ、昼は鮭フレークおにぎりだけという状態が続き、子どもの成長や栄養不足が心配だった」という声や、「病気療養で働けず生活が困窮する中、中学校入学のお祝い金で救われた」といった痛切な声が届いている。また、日頃ゆとりのない家庭にとって、野外体験などの親子イベントは子どもが笑顔を取り戻す極めて貴重な機会となっている。

3. ひとり親家庭の現状と背景にある構造的課題

【格差と「働く貧困層」の実態】現在、全国のひとり親家庭は約 135 万世帯（母子世帯 119.5 万世帯）に達し、その発生理由は離婚が 79.5%と約 8 割を占める。母子世帯の母の就業率は 86.3%と OECD 平均（70.6%）を遥かに超え世界トップクラスである。しかしながら、就労者の 41.2%がパート・アルバイト等の非正規雇用に残っており、正社員率は 48.8%と半数を割る。その結果、母子世帯の平均年間就労収入は 236 万円（総収入 373 万円）に過ぎず、子育て世帯平均（785 万円）の半分以下という極めて著しい所得格差が存在する。

評価指標	数値データ・割合	背景および比較基準
相対的貧困率	44.5%	大人 2 人以上世帯（8.6%）と比較して著しく高水準（先進国最悪レベル）
母の就業率	86.3%	OECD 平均（70.6%）を大きく上回るが、十分な所得向上へ繋がっていない
就労形態の内訳	正 規 48.8% 非正規 41.2%	パート・アルバイト（38.8%）や派遣等の非正規雇用の割合が高い
平均年間収入	母子世帯：373 万円 （うち就労収入 236 万円）	児童のいる世帯全体の平均年間収入（785 万円）の半分以下

【養育費受給率の低低迷と夏休みにおける食の困窮】法的・制度的な取り決めの不備も困窮に拍車をかけている。養育費の取り決めをしている母子世帯は 46.7%にとどまり、現在も継続して受給できている世帯はわずか 28.1%である。また、親子交流（面会交流）の継続率は 30.2%と低い。さらに、夏休み期間における給食の停止や物価高の影響により、昼食準備の負担増や子どもの食料不足が顕著となっており、「夏休みに子どもの体重が減る」と懸念する世帯が 13%（350 件）に上るなど、子ども支援団体が「児童の飢餓が拡大している」と緊急声明を発出するほどの深刻な局面に直面している。

【複層化した困難と社会的背景】ひとり親家庭が抱える貧困は、単なる金銭的問題にとどまらず、「お金の貧困」「時間の貧困」「関係性の貧困（DV、行政対応の弊害、自己尊重感の低下等）」が複雑に絡み合った『複層化した困難』である。これらは少子化の進展による「児童のいる世帯のマイノリティ化（1986 年 46.2%→2024 年 16.6%）」や、正規雇用の長時間労働慣行、性別役割分担、就職氷河期世代の困窮移行など、日本社会の構造的要因に深く根ざしている。

4. 政策・制度と今後の支援・社会課題解決への指針

【政策枠組みと支援者の姿勢】国のひとり親支援施策は「子育て・生活支援」「就業支援」「養育費確保」「経済的支援」の 4 本柱からなる。児童扶養手当や就学援助、高等教育無償化などの各種制度が整備されているが、それらが当事者の実生活に真に寄与しているかの厳格な検証が求められる。現場の支援においては、安易に「がんばれ」と励ますのではなく、日頃の苦勞を労い、人権と尊厳が保障される安心安全な居場所を提供することが第一歩となる。

さらに、困窮当事者が「助けて」と声を上げられる力（受援力）を育むとともに、「誰かの役に立つ」ことがその人の力になる。

【これからのひとり親支援～仮説】 社会課題の解決がひとり親の困難を解消する／ひとり親の困難を知ることが社会課題解決の指針になる。ひとり親の困難は社会課題の最先端である。

【まとめ】

ひとり親家庭の困難は一家庭の自己責任や孤立した課題ではなく、現代日本社会が抱える構造的歪みが最も色濃く現れた「最先端の社会課題」である。この困難に真摯に向き合い、当事者を孤立させない社会的仕組みを構築していくことが、すべての人が尊重され安心して暮らせる社会を実現するための不可欠な指針となる。



幻の地酒の会 10月7日(水) 18:00～ @すきやき「とみたや」

久しぶりに地酒の会を開催致します。
関西で醸された御酒は甘口ですが、じっくりと醸造してある為、
やや辛口な、大変レアな日本酒が提供されます。
今回の御酒は「秋あがり(別名:ひやおろし)」
春先に醸した御酒を原酒のまま氷室に保存し、
初秋に熟成されたものが出荷される期間限定の御酒です。



クラブだより No.7

国際ロータリー第 2580 地区 2026～2027 年度

「ロータリーファミリーの集い」

11月3日 9:00～

参加対象者: 第1部 ローターアクター、ROTEX、RYLA 学友 米山奨学生、
希望の風奨学生(18歳～29歳)ロータリアン(見学)

第2部 ロータリアン、ロータリーファミリー

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター

東京麹町ロータリークラブ

設立 1968年6月17日

例会日 月曜日 12:30

例会場 ホテル・ニューオータニ

会長 吉田 弘和

幹事 植芝 充央

公共イメージ
向上委員長 杉山 敏美

〒102-0093

千代田区平河町 1-3-8

平河町プラザ 204 号

TEL:03-3263-9220

FAX:03-3263-9122

e-mail office@koujimachi-rc.jp

URL: www.koujimachi-rc.jp